

令和7年3月吉日
豊洲めぐみこども園

とうきょうすくわくプログラム活動報告書（乳児）

テーマ：音

1. 自然の音に耳をすませよう

散歩中に、自然の様々な音に耳を傾け、子どもたちにどんな音が聞こえるか聞いてみたり、感想を共有し合ったりしました。保育者や子どもたち同士の対話の機会を増やし、関わりを促しました。



2. 音楽リズム、楽器遊びをしよう

音楽リズムでは、参観時に講師による指導を受け、親子での関わりを楽しみながら様々な楽器に触れました。また、さまざまな種類の楽器を用意し、一人ひとりが楽器に触れる機会を作ることで、全員が楽しさや音への興味関心を友だちや保育者と共有できるようにしました。



3. 音階や音の違い、変化を楽しもう

まずは保育者がミュージックパットを使って子どもたちの知っている曲を奏で、音階について興味を深めました。それから実際に子どもたち自身でミュージックパットを使って音を鳴らし楽しむ時間を作りました。



振り返り

「1.自然の音に耳をすませよう」の活動では、何気ない日常生活の中に存在する音が沢山あることに子どもたちが気が付く経験となりました。言葉が出たばかりの1歳児クラスを対象としていたため、多くの言葉を発する様子は見られませんでした。保育者の「どんな音がする？」という問いに保育者の使う擬音語を真似たり、知っている音で近いものを探したりして伝えようとする様子がみられました。

様々な楽器に触れる経験は、興味を持つ子が多かったため、今後の保育に活かしていきたいと思いました。定期的に専門講師を招いて乳児期から「音」に関する豊かな経験を積むことができると良いと考えました。